

平成29年度

石巻市子どもの未来づくり事業（第Ⅱ期）

「学習指導の改善を図る研修会」

本研修会は、石巻市内小・中学校の教員を対象に平成27年度から本格的にスタートし、今年で3年目となります。石巻市の各小中学校が抱える学校課題の解決に向けて、「学級づくり」「人間関係づくり」「信頼関係づくり」「児童生徒理解」の4つの視点から教員の指導力向上を図り、その結果、学級や学校の力が向上し、学力も向上していくという認識のもと、取り組んでいるものです。

第5回、第6回研修会

- 日時 平成29年8月24日（木）、25日（金）9：50～
- 場所 石巻市遊楽館 大ホール
- 講師 広島大学大学院教育学研究科
附属教育実践総合センター長 栗原慎二教授



☆研修内容

24日午前：学校改善に向けたプロジェクトマネジメント
（教頭・中堅教員研修会を兼ねて実施）

24日午後：アセスの使い方・生かし方・読み取り方

25日午前：愛着に課題を抱える子どもの理解と支援

25日午後：交流分析によるコミュニケーション分析

★参加者数 24日：午前181名 午後219名
25日：午前291名 午後188名

受講者の声

○栗原教授の話は、何度聞いても参考になります。全ての日程に参加できるリーダーの人数は限られていますが、夏休み開催の利を生かして、全職員を参加させてよかったと思います。あとは実践ですね。研修の機会を与えてくださったことに感謝します。ありがとうございました。【管理職】

○リーダーとは何なのか、その役割は何かについて、大きな刺激を受けました。嫌われることを厭わないという言葉から、嫌われたくないと思う気持ちがリーダーとしての役割に邪魔になっているということも分かりました。学校として大海原をどのような方向へ船を進めるのか、根拠をもって指示できるよう、先生方に負けないように勉強していかなければならないと感じました。【管理職】

○特に印象に残ったのは、幼児決断の形成、幼児決断、再決断についてである。私は子どもと接していて「〇〇ちゃん、すごいね、頑張ったね」と言ったとき、「そんなことないです」と返され、それで会話が終わってしまったことがある。肯定的体験に気づかせること、子どもが「はじいた」ことに対して、はじかせたままにしないことを学んだ。ぜひ、これから実践していきたい。【一般教員】

○エゴグラムチェックをして、自分のコミュニケーションパターンを知ることができました。それぞれの特徴をしっかりと把握しながら、子どもたちや保護者とコミュニケーションを図っていきたいと思います。相手の気持ちを受け止める、共感するということにも気を付けていきたいと思います。【一般教員】

